

# **第5回策定委員会 議事録**

(平成21年6月10日(水)14時～16時：市役所本庁舎3階第一委員会室)

## **1 開会**

### ○ 後任委員の紹介

(佐藤利美委員(国土交通省湯沢河川国道事務所)、荒木誠委員(秋田県仙北地域振興局建設部)、田中功委員(秋田県大仙警察署)、判田勝補委員(大曲地域協議会)、今野弘子委員(協和地域協議会)、大信田康雄委員(太田地域協議会)、吉野富夫委員(大曲商工会議所)、小林隆委員(東日本旅客鉄道(株)大曲駅)、高貝芳彦委員(大仙市商工会))

### ○ 代理出席者の紹介

(高橋委員(国土交通省湯沢河川国道事務所第二課長)、小沢委員(大仙市商工会事務局長))

### ○ 欠席者

(伊藤辰朗委員(南外地域協議会))

※平成21年3月31日に任期満了のため、新しく委嘱状の交付を行った。

## **2 これまでの経緯**

## **3 議事**

### **(1) 前回からの主な意見と対応事項**

#### **<山口委員長>**

#### ○ 合併前の都市計画マスタープランと比べて主なポイントは何か。

##### → <事務局>

人口減少が進む中で持続可能な都市、一体の都市とするため、集中的に投資すべき場所を明確にして、中核拠点、地域拠点、生活拠点を定めた。

また、中心市街地の再生として、従来の商店街から「生活街」への転換をキーワードとした。

加えて、国道13号沿道は、民間開発の後追いではなく、計画的に土地利用のコントロールを図ることを明文化した。

#### **<山口委員長>**

#### ○ 本マスタープランでは、国道13号沿道を開発するとはっていない。あくまで許容の範囲を示したものである。和合の大規模商業施設より南側は開発を拡散させないという意思表示をしている。

#### <吉野委員:大曲商工会議所>

- 中心市街地と国道13号沿道の件は、許容せざるを得ない苦渋の表現である。「土屋館わいわい広場」の取り組みに代表されるように、中心市街地活性化基本計画と絡めて進める必要がある。
- 商業に関するアンケート調査結果を7月1日ホームページに掲載するが、大規模店舗利用者は増えたが、横手や湯沢からの利用者が多くなっている。大仙商品券の状況を見れば、いい影響を受けながら頑張っていると言える。
- 組合総合病院の結論を早めに頂きたい。中心市街地の活力が低下してきている。生活のための利便性を確保すべきであり、特にお年寄りの利便性の確保が重要である。

#### <山口委員長>

- 郊外開発を規制すれば中心市街地が活性化するものではない。中心市街地の活動が魅力的であってこそ、市民（消費者）の理解が得られる。
- 本マスタープランでは、公共施設の移転の話にもふれており、「公共公益施設の郊外移転は避けるべき」と表現されている。これは組合総合病院の件とも関連する話である。このことも本マスタープランのポイントであると考えます。

### (2) 今後の予定

#### <山口委員長>

- マスタープランに具体的な事業までは掲載できないが、シンポジウムを開催し、今後の展開と情報公開を行うことを予定している。

### (3) 概要版について

#### <鈴木和栄委員:神岡地域協議会>

- 計画書はどのように配布するのか。

→ <事務局>

130部印刷し、各委員、各総合支所地域振興課へ配布する。また、大仙市のホームページに計画書全てを掲載する。  
概要版は全戸配布を行う。

#### <山口委員長>

- 商業、農業、商店、各種団体に積極的に配布すべきである。不動産・建築関係者や民間企業者にも概要説明することが重要である。

**<鈴木和栄委員:神岡地域協議会>**

- 地域協議会のメンバーには配布願いたい。

**<傳農富士夫委員:中仙地域協議会>**

- 計画書 114 頁の中仙地域 (2) 地域の課題 1) 土地利用 3 行目の「集積おり」となっている。「集積しており」に訂正願いたい。

**<山口委員長>**

- 概要版は、図を大きくすべきである。また、わかりやすい表現など工夫をお願いしたい。

**<佐藤力哉委員:仙北地域協議会>**

- 農振白地地域など専門用語は平易な言葉に置換して頂きたい。
- 計画書 10 頁の 1. 都市の概況 (1) 位置・規模の 2 行目の「北は仙北市とそれぞれ～」を「北は仙北市にそれぞれ～」に修正願いたい。

**<小沢委員(代理):大仙市商工会>**

- 概要版では、上位計画 (総合計画) との関連、計画の位置をわかりやすく示すべきである。

**<有明秀太郎委員:大仙市社会福祉協議会>**

- 重点施策は、項目だけでなく内容 (概要) がわかるようにしていただきたい。

**<今野弘子委員:協和地域協議会>**

- 計画書については、昨年 11 月に開催した地域別懇談会の意見が反映されていることを確認した。
- 概要版については、みなさんの意見と同様に図を大きくしていただきたい。
- 概要版の内容については、要約しなければ分量が増えてしまうため概要だけ記すことでやむを得ないを考える。

**<山口委員長>**

- 図は、自分の住んでいるところもわからないと興味もわかない。地域や地区名を入れるなどの工夫が必要ではないか。

**<工藤淳志委員:西仙北地域協議会>**

- 平成 42 年までの人口減少については、夢のあるような表現も必要ではないかと考える。人口が減少してもキラリと光るプラスの要素がほしい。

**<小松喜美子委員:大仙市男女共同参画審議会>**

- 本マスタープランに基づき、1年に数回程度でも、市民が何をし、行政は何をしたかを話し合う機会がほしい。みんなで接点の場をつくることを期待したい。

**<山口委員長>**

- マスタープランの方ではどのように記載していますか。

→ **<事務局>**

本編の150頁に進行管理等について可能な範囲で記載しています。

**<有明秀太郎委員:大仙市社会福祉協議会>**

- 概要版について、和合地区の図を入れたところが無秩序な開発を抑制しようという考えが強調されていると感じた。是非、この図を市民に公開していただきたい。

**<山口委員長>**

- 文章だけではわかりにくいことも、図を入れるとわかりやすくなる。

**<有明秀太郎委員:大仙市社会福祉協議会>**

- 人口推移のグラフは小さくしても構わないのではないか。

**<山口委員長>**

- 市民の具体的な計画への関与については、シンポジウムで話をしたいと考えている。このシンポジウムをきっかけとして、市民からの発言を期待する。
- 今回の委員会でマスタープランの内容について了解いただいたとしてよろしいでしょうか。特に意見がないため、了解いただいたものとします。
- 概要版は、わかりやすくするまとめることをお願いします。
- 7月24日にシンポジウムを開催する予定ですので、ご協力の程よろしくお願い致します。

**4 その他**

**5 閉会**

～ 以上 ～